

## 趣 意 書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から当圏域の産業振興及び当センターの各種事業につきまして、格別のご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、当センターが主催する“都城地場産業まつり”を本年は10月21日(土)～22日(日)の二日間にわたり開催することといたしました。

この産業まつりの歴史を顧みますと、戦後間もない昭和27年に都城市役所の庁舎を第一会場として“九州産業振興博覧会”が開催されたとあり、このことがルーツと考えられます。その7年後、昭和34年から妻ヶ丘町の市営体育館で昭和57年まで「都城市産業まつり」として開催されています。当時は高度成長期で好景気の波もあり、会場は多くの人出で大変な賑わいを見せていました。そして、昭和57年、地場産業振興センターが新設されたことに伴い、当センターに会場を移し現在に至っています。

このように、この産業まつりは長い歴史に培われ、伝統的工芸品の匠の技を継承し、食料品の製造販売や新商品開発などを通して、当地域の経済発展の基盤づくりに大きな役割を果たしてまいりました。なかでも農畜産物製造品出荷額は全国一を誇るまでに成長しています。

当センターでは、地場産業振興の中核事業である“地場産業まつり”をさらに深化させるとともに、幾多の地域資源の磨き上げによって新商品の開発や販売促進を強化し、地域経済の発展に尽くしてまいる所存です。

このような目標を実現するために、このたび「みやこのじょう地場産業応援団」を設置することとなりました。

各企業様におかれましては、この趣旨を何卒ご理解いただき、当地域の産業振興のためご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成29年6月

一般財団法人 都城圏域地場産業振興センター

理事長 岩 崎 透